

笛吹市 議会だより

平成30年7月24日発行

2018

Vol.55



各会派・政務活動費の収支状況 ②

6月議会会期日程/議会日誌 ⑤

案件一覧表 ⑥

7人が一般質問 ⑦

視察研修受け入れ ①

委員会レポート ⑫

危険個所に対する要望書 ⑮

市民リレートーク/編集後記 ⑮

平成29年度 政務活動費の収支状況

(各会派の収支報告書に基づき掲載)

・政務活動費とは、地方自治法に基づき、笛吹市議会政務活動費の交付に関する条例及び施行規則を定め、研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派および議員に対し請求により交付する経費です。なお、笛吹市議会ではすべて領収書添付となっています。

- 交付金は、1人当たり月額10,000円に会派の人数を乗じた金額となり、年2回に分けて交付します。
- 交付金額に残額が生じたときは、市へ返還します。

笛新会

● 会派のメンバー 8名

代表：保坂 利定／北嶋 恒男／海野利比古／岩沢 正敏／神澤 敏美／荻野 謙一
神宮司正人／武川 則幸

【活動内容】● 調査活動費としては、「笛吹市まちづくり政策」への課題を念頭に置きながら県外先進地視察を実施している。平成29年度は4ヶ所実施した。

- ①茨城県常総市一級河川鬼怒川の激甚災害の復旧状況
- ②東京有名デパート等への笛吹市産フルーツの流通状況
- ③埼玉県熊谷市全天候型スポーツ施設の目的と利用状況
- ④京都市景観・まちづくり等の成功事例等を学んできた。

● 県外先進地を現地訪問することで「百聞は一見に如(し)かず」をその度に経験し、現地で研修や活用状況の説明を受けた。広報費としては、年に一回「笛新会だより」を発行して市内全域に新聞折り込みで活動報告している。

● その他、機関誌・専門誌の購読など。



交付金額	支出金額							合計
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	
1,030,000	0	589,373	18,879	52,561	398,228	0	0	1,059,041

誠和会

● 会派のメンバー 4名

代表：小林 始／中村 正彦／古屋 始芳／河阪 昌則

【活動内容】● 長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」『中越地震における新潟県内の被災状況、避難対応、復旧・復興の状況について』の研修、おぢや震災ミュージアム「そなえ館」『中越地震の体験、避難生活についての説明』等の行政等視察を行った。

● 胎内市、胎内市教育員会では文化財の保護、維持管理、観光資源としての活用等を聴取することができた。

● 彦根市役所(滋賀県) 議会運営及び議会改革の取組みについての先進地研修。JR尾張一宮駅前ビル(愛称:i-ビル)【指定管理:大成株式会社】愛知一宮市JR尾張一宮駅に隣接して図書館や子育て支援センターなどの複合的な施設設置に対する経緯・事業概要研修、施設見学を行った。

● 機関誌・専門誌の購読及び知識習得等のための図書購入など。



交付金額	支出金額							合計
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	
480,000	0	321,025	0	148,464	0	0	0	469,489

公明党

●会派のメンバー 3名

代表：中川 秀哉／渡辺 清美／川村 恵子

【活動内容】

- 公益財団法人埼玉県公園緑地会・熊谷スポーツ公園・熊谷スポーツ文化公園管理事務所「彩の国くまがやドーム」施設概要及び建設経費等についての研修・施設視察を行った。
- 彦根市役所（滋賀県）議会運営及び議会改革の取組みについての先進地研修。
- JR尾張一宮駅前ビル（愛称：i-ビル）【指定管理：大成株式会社】愛知一宮市JR尾張一宮駅に隣接して図書館や子育て支援センターなどの複合的な施設設置に対する経緯・事業概要、施設見学について。
- 機関誌・専門誌の購読及び知識習得等のための図書購入など。



交付金額	支出金額							合計
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	
360,000	131,871	0	0	74,550	0	0	0	206,421

笛政クラブ

●会派のメンバー 3名

代表：前島 敏彦／大久保俊雄／志村 直毅

【活動内容】

- 長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」『中越地震における新潟県内の被災状況、避難対応、復旧・復興の状況について』の研修、おちや震災ミュージアム「そなえ館」『中越地震の体験、避難生活についての説明』等の行政等視察を行った。
- 胎内市、胎内市教育委員会では文化財の保護、維持管理、観光資源としての活用等を聴取することができた。
- 彦根市役所（滋賀県）議会運営及び議会改革の取組みについての先進地研修。
- JR尾張一宮駅前ビル（愛称：i-ビル）【指定管理：大成株式会社】愛知一宮市JR尾張一宮駅に隣接して図書館や子育て支援センターなどの複合的な施設設置に対する経緯・事業概要研修、施設見学。
- 機関誌・専門誌の購読及び知識習得等のための図書購入など。



交付金額	支出金額							合計
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	
360,000	10,000	240,770	0	81,756	0	0	0	332,526

日本共産党

●会派のメンバー 2名

代表：渡辺 正秀／河野 智子

【活動内容】

- 主要な用途は、年に4回全戸配布している議会報告発行。
- 毎回読んだ方から様々な意見や感想が寄せられ、もちろん批判もあり、寄せられる皆さんの声は私達にとってとても貴重なもの。



交付金額	支出金額							合計
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	
240,000	0	0	0	0	431,496	0	0	431,496

無会派

1名

野澤今朝幸

【活動内容】

- H29.11.1から会派を退会し無会派議員となった。
- H29.11.1から5ヶ月分機関誌・専門誌の購読及び知識習得等のための図書購入など。



交付金額	支出金額							合計
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	
50,000	0	0	0	51,209	0	0	0	51,209

【備考】

1. 交付金は平成29年度分。(H29.4～H30.3まで)
2. 預金利子が発生している場合は笛吹市の雑入として処理している。
3. 支出金額に充てられる額は交付金額までとなり、支出超過分は各会派の負担としている。
4. 詳細については、笛吹市情報公開条例に基づき閲覧することができます。
5. 昨年度は会派で合同研修を行うことが多かったため内容が重なっています。

■平成29年度 議長交際費の支出状況

- ・議長交際費は、議会を代表して各種行事など対外的な活動をするため要する経費で「笛吹市議会議長交際費支出基準」に基づき執行しています。

	弔意		会費		賛助		合計	
件数・金額	8件	46,000円	7件	72,000円	1件	7,500円	16件	125,500円

6月議会・会期日程

6月4日（月）

・議会運営委員会 全員協議会

6月11日（月）

■開会

●本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長施政方針

・提出議案の説明

6月19日（火）

・質疑および一般質問・付託

6月22日（金）・25日（月）

・各常任委員会（付託事件審査）

6月29日（金）

・総務常任委員会（付託事件審査）

・議会運営委員会 全員協議会

●本会議

・各委員会の審査報告

・討論・採決

・追加議案の説明

・質疑・討論・採決

■閉会

議会日誌 GIKAI diary

3月 March

- 1日 総務常任委員会意見交換会「連合区長会」
- 5日～6日 議会常任委員会
- 12日 議会運営委員会・全員協議会・第1回定例会本会議（中日）
- 13日 笛吹市内中学校卒業式
- 14日～16日 議会常任委員会
- 22日 笛吹市内小学校卒業式・笛吹市国際交流委員会
- 23日 議会広報編集委員会・議会運営委員会・全員協議会
第1回定例会本会議（最終日）
- 25日 境川ミズバショウ春まつり
- 27日 東山梨環境衛生組合議会・全協・本会議
- 28日 東八代広域行政事務組合議会・全員協議会・本会議
- 29日 甲府峡東ごみ処理組合議会・幹事会・全員協議会・定例会
峡東地域広域水道企業団・全員協議会・本会議
- 30日 釈迦堂遺跡博物館組合議会・全協・本会議

4月 April

- 1日 笛吹市消防団入退団式
- 2日 笛吹市職員人事辞令交付式
- 5日 笛吹市内小・中学校入学式
- 6日 議会広報編集委員会・スコレー大学入学式
- 7日 桃源郷かすがいまつり
- 8日 第13回笛吹市桃の里マラソン大会・日本の桃源郷ウォーク
- 11日 桃源郷春まつり第14回全国ゲートボール大会
ドイツパート・メルгентハイム市公式友好使節団歓迎セレモニー
山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議



- 13日 議会改革委員会
- 15日 大神幸祭（おみゆきさん）
- 19日 胎内市議会まちづくり常任委員会視察研修（受入）
- 20日 定例全員協議会・笛吹市経済懇話会
- 21日 山梨県市議会議長会第259回定期総会
- 22日 笛吹市体育祭り開会式
北富士駐屯地50周年記念式典
- 26日 第84回関東市議会議長会定期総会・山梨県市議会議長会交流会
- 28日 市町村長・市町村議会議長会議・意見交換会
笛吹市保育協議会定期総会

5月 May

- 9日 リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会総会
- 11日 笛吹市老人クラブ連合会定期総会
- 17日 議会改革委員会・峡東水道企業団・小水力発電現地視察
- 19日 芦川町すずらの里祭り



- 22日 定例全員協議会
- 25日 笛吹市商工会通常総代会
- 27日 わんぱく相撲全国大会笛吹場所兼清流杯争奪笛吹わんぱく相撲大会
- 29日 全国温泉所在都市議会議長協議会総会・市文化協会定期総会
- 30日 全国市議会議長会第94回定期総会・甲斐いちのみや大文字焼き実行委員会
- 31日 笛吹交通安全協会定期総会・懇親会

6月
定例議会

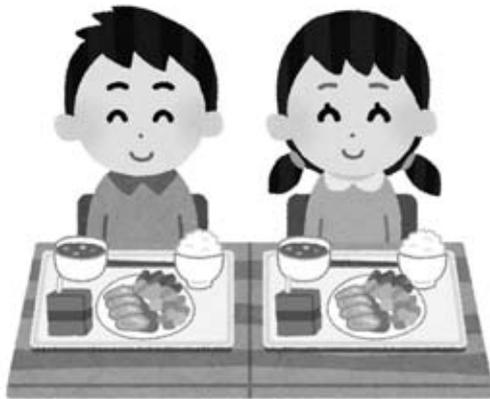
市民の声

質疑および一般質問

6月定例議会では、7人の議員が質疑および一般質問に立ち、市の考えをたどりました。以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問



渡辺清美議員 2018年度税制改正で新たに導入する設備の固定資産税の軽減を自治体判断で行えることとした生産性向上特別措置法が成立した。補助金の申請件数、対象中小企業事業者にどのように情報提供したのか。積極的な制度活用推進を図るべきと考えるが、市の見解は。
小宮山産業観光部長 いち早く固定資産税の課税標準を3年間ゼロに軽減する、「笛吹市税条例の一部改正」を今議会に提出した。持続化補助金は12社から申請があった。情報



渡辺清美議員
(公明党)

問 中小企業支援対策は

答 笛吹市税条例の一部改正を提出

提供は商工会ホームページなどで事業紹介し、2回の説明会が行われた。商工会など関係機関と連携し、中小企業者に広く情報提供していきたい。

問 給食のアレルギー対策は

渡辺議員 学校に関わる全ての人がアレルギーへの理解を深め、さらなる対応が必要だ。食物アレルギーを持つ生徒数及び原因食材、またアレルギーの現状と対応を伺う。

答 代替食持参などで対応

須田教育部長 本年度の食物アレルギーを持つ児童生徒数は、小学校85人、中学校61人、計146人。アレルギーの原因は果物類が最も多く、それに次いで卵、ナッツ類、乳製品、えび・かに類など。現在、「除去食」を提供できるのは一宮学校給食センターのみで、他の施設では献立表を家庭に配布し、食べられない食材は代替食を持参するなど、各家庭に対応をお願いしている。



中川秀哉議員
(公明党)

問 自治会共通マニュアルの整備は

答 関係機関と協議し進める

中川秀哉議員 ①自治会加入促進ハンドブックの整備を求める。

②行政企画書・申請書作成マニュアルの整備を求める。

③自治会内部での組脱退や、自治会崩壊を避ける関係機関との協議は。

小澤総務部長 ①関係機関と協議し、早い段階で作成・配付したい。

②各支所に地域サポート職員を配置し、行政区長が相談できる体制を整えた。総合的マニュアルについて、新行政区長の不安や負担の軽減となる内容の協議を区長会等と行う。

③行政側からの進んだ協議は難しいが、必要に応じ関係機関と連携し、行政区の持続的な運営に向けた協議を行っていく。

問 市営住宅・団地の訓練は

中川議員 ①防火装備の整備充実は。

②消火訓練の実施と火災時の緊急通報体制の強化は。

③長塚団地、広瀬住宅跡地の防災公園などの活用策は。



建設中の四日市場市営団地

答 マニュアルの作成・配布も検討

雨宮建設部長 ①市営住宅の防災設備整備率は100%で順次更新している。連動型住宅用火災警報器や通電火災防止ブレーカーを検討。

②市の防災訓練等で消火訓練を行っている。消火訓練等と併せ、マニュアルの作成や配布も検討していく。

③今年度中に取り壊しを計画しており、跡地利用は売却も含め検討中である。近隣住民や行政区などへの説明は必要に応じておこなう。



神澤敏美議員
(笛新会)

問 「笛吹みんなの広場」の活用は

答 早期完成目指し工事進める

神澤敏美議員 地域の活性化を考えると、「笛吹みんなの広場」の活用は重要課題だ。

①市民の健康促進施設づくり、グラウンドゴルフもできる芝生ドームは。

②温泉活用「アスリートが集う癒しの施設」づくりは。

③県内外の文化芸能を楽しめる空間づくりを検討しては。

④「地産地消」笛吹ハートフル朝市・夕市と銘打ち、農産物を全国に発信しては。

⑤広場の一角に子ども公園の計画な



芝生型ドーム施設

ど、親しみある広場の検討は。

⑥災害に強い「ドーム型芝生施設」(仮称) 笛吹ハートフルドーム建設計画の推進を。

⑦今後のスケジュールは。

深澤総合政策部長 ①⑥活用策については、市民ワークショップで「市民が日常的に自然を感じられる場としての役割を重視しながらも、定期的にイベントなどを開催することで、集客や多様な交流を生み出す場として利用していく」という方向性が示されている。また、市民アンケートでは「自然を感じられる機能」「各種イベント機能」が重要度や利用意向が高い結果となった。この結果を踏まえ、活用策を検討し決定していきたい。提案いただいた活用策も、参考にしたい。

⑦今後のスケジュールは、庁内で8月までに整備方針をまとめ、イメージ図を示す、今年度中に設計、開発協議の完了を目指しており、来年度は、工事費を予算化し早期完成を目指して工事を進めていく予定となっている。



野澤今朝幸議員

問 芦川太陽光発電施設の問題性は

答 関係法令に則り強く指導

野澤今朝幸議員 芦川町地内における太陽光発電施設設置は、今後の芦川町にとり極めて大きな問題だ。
①経緯・規模・設置者等の概要および今後の設置動向は。
②設置に対するこれまでの市の対応は。

③市の景観形成マニュアル、県の適正導入ガイドラインの役割は。
④これまでの市対応の自己評価は。
⑤市は芦川町の安全・今後のまちづくり、地域振興の観点に立ち、どんな姿勢と方針を持ち対処するのか。



すずらん群生地に向かう道沿いに設置された太陽光発電施設

雨宮建設部長

①設置済のものは1月に景観計画区域内行為届出書が市に提出され、施設設置も確認した。設置場所は上芦川358番地で890㎡、認定出力44kW、発電事業者は甲府市国母・有限会社窪田商店。今後計画中のものは上芦川地内で、面積23、000㎡認定出力1、330kWと推測。

②芦川町は景観形成重点地区候補地、設置者に説明も行い、県エネルギー政策課も参加し住民説明会を実施。

③市マニュアルは太陽光発電施設の設置は行わないとして行為の制限をしている。強制力を伴わないが、発電事業者等には計画内容を隣接者、地元で説明し、同意を得るよう指導。県ガイドラインは、適正導入のため、事業者を指導するもの。
④発電事業者等に再三説明し、精一杯の対応に努めてきた。

⑤貴重な農山村の景観を保全しなければならぬ地域であるため、このような施設はふさわしくないと考え県とともに適切に関係法令等に則り強く指導していきたい。



志村直毅議員
(笛政クラブ)

問 都市計画マスタープランの見直しは

答 都市・郷の将来像、構造を検討

志村直毅議員

①スケジュールは。
②計画の位置づけと役割等は。
③計画期間前半(過去10年)の概況変化と、課題に対する評価・対応は。
④将来構造に対する見直しは。
⑤下水道整備、バリアフリー構想、ユニバーサルデザイン推進の考えは。
⑥交通まちづくり方針の考え方は。
⑦新環状ランンプ周辺の将来構想は。

雨宮建設部長

①2年間かけ見直す。
②市民や行政、事業者等の共通のまちづくり指針としての役割を果たす。
③現行のマスタープランの目標と照らし合わせて評価を行い、課題を整理して見直す。
④第二次総合計画に即し検討。
⑤未着手の課題を含め各方針の進捗状況を精査し、目標設定を検討する。
⑥7市の将来を見据えた交通網の構想や拠点設定への検討を行う。

問 地域公共交通は

志村議員

①地域公共交通の考えは。
②多様な分野等による移動支援は。
③早朝便等、運行の柔軟な見直しを。



将来を見据えた笛吹市の都市計画見直しが期待される

④移動ニーズの把握や対応は。

答 移動支援の仕組みを構築

深澤総合政策部長

①②市民の日常生活における移動手段の維持、確保と多様なニーズに対応した公共交通体系の構築が基本方針。
③④移動に関する市民ニーズの把握調査を実施し、地域公共交通、福祉、市民活動等関係部署が一体となり、移動支援の仕組みを構築したい。



渡辺正秀議員
(日本共産党)

問 小中学校教育とは何か

答 人格の完成を目指す

渡辺正秀議員 ①社会問題、子ども
の問題に対する教育の責任は。

- ②義務教育における学習権とは。
- ③教育の目的、普通教育とは何か。
- ④教育の義務の履行とは何か。
- ⑤H26改訂市学校教育ビジョンにおける真理探究、認識深化、学力向上の位置づけは。

須田教育部長 ①昨今の社会問題が
子どもたちに悪影響が及ばないこと

を望む。子供たちが自信を持ち、確かな学力を身につけることが大切で、点数評価や過度な競争を持ち込まないよう引き続き指導する。

②児童生徒が、一人前の大人になる
ために必要な学習条件や学習環境を

求める権利が学習権と考える。
③人格の完成を目指し、児童生徒一人
ひとりが社会で自立して生きてい



問 介護保険制度と市の現状は

答 介護老人福祉施設を計画



河野智子議員
(日本共産党)

河野智子議員 ①第1号被保険者の
人数と滞納者数は。

- ②介護保険料を滞納した場合のサー
ビス利用は。
- ③特養ホーム待機者人数は。
- ④総合事業の報酬引き上げ検討は。
- ⑤介護慰労金支給に所得制限性を。

飯島保健福祉部長 ①合計が20、
817人。そのうち滞納者は567
人。

②自己負担割合が3割または4割に
引き上げられるなど制限を受ける。
③介護3から5までの人数で376
人。

④現時点での引上げは考えていない。
⑤高額介護サービス費給付事業や、
高額医療合算介護費給付事業の負担
限度額が低く設定がされており国の
基準に従って実施する。

問 生活保護制度と現状は

河野議員 ①生活扶助基準の引き下
げで、生活保護利用者の何%が影響
を受けるか。

②生活保護制度周知に市のしおりを。

- ③通勤車両保有認定世帯数は。
- ④通院費支給の条件と支給件数は。
- ⑤保護世帯の高校卒業後の進学に伴
う市独自の奨学金制度の考えは。

答 激変緩和措置
段階的見直し

飯島保健福祉部長 ①生活保護受給
者の約84%。子育て世帯の影響が大。

②しおり等作成し制度説明時に使用。
③認められた世帯数は5件。
④原則本人負担、費用負担が多くな
る場合支給対象。現在、8人に支給。
⑤当面は国の制度を利用して頂き、
国による支援制度拡大を働きかける。

生活保護



視察研修 受け入れ

新潟県胎内市議会

まちづくり常任委員会 の皆さまが来庁しました

4月17日（火） 笛吹市の「友好都市」であり「防災協定」も締結している、新潟県胎内市の議会まちづくり常任委員会の皆さまが、笛吹市役所に視察研修のため来庁されました。

旧境川町と旧中条町の時代より、「板額御前ゆかりの地」として友好関係を結び「藤壘の滝の水芭蕉」などを通じ地域間交流を行ってきました。また、2014年の大雪の際には、6台の除雪車を使って通学路の除雪を中心に多くの箇所の除雪をしていただきました。

今回は、市役所本館で総合政策部企画課より、笛吹市の移住定住施策について研修を行い、その後、境川支所および地元地区の岩沢正敏議員の案内で境川町内の「藤壘の滝」、「板額塚、板額坂、帯石」などの現地視察を行いました。

両市とともに市議会としても、今後も継続して交流を深めていきたいと思えます。



議会改革委員会の報告

議会では、昨年度より議会改革委員会を数回にわたり開催し、議会運営の見直しについて検討を重ねてきました。この検討にあたって、各種法令の確認や他自治体の運用を参考にし、その結果、平成30年第2回定例会からは議案書等の配布と質疑・質問の通告の締め切りを見直すこと、および議案に対する質疑と代表質問や一般質問を一緒に行うスタイルに変更しました。

また、質疑および質問については、会議規則どおり通告制に基づき行うことや、特に質疑・質問の回数などを遵守して行うことを確認しました。



総務常任委員会

委員長	古屋 始芳	副委員長	岩沢 正敏
委員	神宮司正人	北嶋 恒男	小林 始
	渡辺 正秀	川村 恵子	

審査議案：議案第54、55、64号、平成29年請願第2号

6月22日、25日、29日の3日間、委員会を開催。
付託された条例の一部改正2件、一般会計補正予算5件の計7件を審査し、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

〈総務部所管〉

Q 所定の手続きを行うことと「笛吹市税条例の一部改正」により中小企業が、設備投資に対する特例措置を受けられることができる事業所が、市内でどの程度あるのか。
A 対象が資本金1億円以下、従業員1千人以下の事業所であるため、多数の事業所が対象となる。

【意見】

市内事業者には十分周知し、制度の有効活用がされるよう努めていただきたい。
Q 一般財団法人助成内容等は。
A コミュニティー活動に直接必要な設備、コミュニティセンターの建設また



は大規模改修、その施設に必要な備品の整備などがある。また、消防団活動における設備等の整備がある、との説明があり、申請はそれぞれ地元からの要望を聞き取り、必要な手続きを行っているが、採択はその年の県内の申請状況により件数変動している。

〈総合政策部所管〉

Q ガバメントクラウドファンディングの内容は。
A 総務省の「ふるさと起業家支援プロジェクト」に基づく事業で、ふるさと納税制度を活用して寄付金を募り、地域おこし協力隊の起業を支援していくものである、との説明があった。

【継続審査】

「治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）」の制定を求める意見書の提出を求める請願」は、1年間継続審査となったため、先例により審議未了となった。

【意見・要望】

平成30年6月18日に発生した大阪北部地震に伴う学校プール壁の倒壊事故を受け、本市の公共施設等に対する点検および点検結果による危険箇所の早急な対応について協議し、
・公共施設の壁、屋根及び天井などの倒壊、崩落等の危険性について点検を実施すること。
・消防団における地域の防火水槽、消火栓、詰所などに危険箇所がないか点検すること。
・点検の結果、危険箇所が見つかった場合は、予算措置を講じ早急に対応すること。
などの意見が出され、議会から市に対して強く要望していくことを確認した。

教育厚生常任委員会

委員長 荻野 謙一 副委員長 武川 則幸

委員 河野 智子 野澤今朝幸 中村 正彦
志村 直毅 中川 秀哉

審査議案：議案第56～62号、64～68号、平成30年請願第1号

6月22日、25日の2日間、委員会を開催。

付託された条例の一部改正7件、一般会計補正予算3件、特別会計補正予算4件の計14件を審査し、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。

〈保健福祉部所管〉

Q 高齢者福祉事業の行政区敬老事業助成金で、助成金の見直しについて4月開催の各地区区長会に説明を行ったとのことだが、今後の計画についてはどうなっているか。

A 4月の区長会で、人数割りの単価について説明し概ね了承いただいた。最終的には平成31年度の予算を作成する前の8月に、連合区長会で方針を示し説明する。各地区の区長会にも必要に応じて説明をしていく。

〈教育委員会所管〉

Q 学力向上支援スタッフ配置事業県補助金で、具体的にどのような事業内容か、また学校選定の理由と背景は。

A 教員OBなど2人を週3日勤務、2日勤務あわせて週5日、境川小学校に配置の予定である。学校の選定は職員定数、県の加配措置、学校現場の状況を聞く中で総合的に判断した。

〈市民環境部所管〉

Q 地域施設振興事業の境川交流センター機械設備改修工事について、投げ込み式ヒーターの耐用年数はどのくらいか、また、交換については容易にできるのか、何機購入するのか。

A 耐用年数はおよそ10年から15年。また、取り替えるは容易にでき、購入するのは2基である。



委員会審査終了後新設する給食センターの建設現場視察

〔意見・要望〕

平成30年6月18日に発生した大阪北部地震に伴う学校プール壁倒壊事故を受け、本市の公共施設等に対する点検及び点検結果による危険箇所の早急な対応について協議し、本委員会においては、

- ・通学路、避難路の危険箇所点検、およびこれに伴う家屋や壁の倒壊等の危険箇所が見つかった場合には、所有者に対する注意喚起および指導を行うこと。
- ・学校施設（校舎、校庭など）、また学校周辺についての危険性について点検すること。

- ・保育所施設（園舎、園庭など）、また保育所周辺についての危険性について点検すること。

- ・福祉施設、文化・スポーツ施設など、多くの市民が利用する施設に危険箇所がないか点検すること。

などの意見が出され、議会から市に対して強く要望していくことを確認した。

建設経済常任委員会

委員長	保坂 利定	副委員長	河阪 昌則
委員	神澤 敏美	渡辺 清美	大久保俊雄
	前島 敏彦	海野利比古	

審査議案：議案第63、64、69、70号

6月22日、25日の2日間、委員会を開催。

付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算3件、水道事業会計補正予算1件、公共下水道事業会計補正予算1件の計6件を審査し、賛成全員でいずれも原案の通り可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次の通り。



東京大田市場での農産物等消費拡大宣伝

〈産業観光部所管〉

Q 「地域農業振興事業費、産地パワーアップ事業費補助金」の、対象果実および補助生産者の地区はどこか。

A 高品質の果実生産が目的。加温ハウスの設置に対する補助金で、対象果実はすべてシャインマスカット。補助対象生産者4人の地区は御坂が2人、一宮が2人

で、補助金額は整備にかかる資材やリースに伴う費用の2分の1が補助対象で、ハウス規模により変わる。

Q 今回、対象になるまでの経過は。

A 昨年度末に国の補正予算があり、県を通じ市へ連絡があり、市は農協を通して各農業者へ周知したが、4人の方の希望があった。

Q 鶉飼育施設の整備で、見学者に対し説明等を行うガイドなどの考えはないか。

A 現段階では考えていない。過去、夏の鶉飼いのときに遠妙寺の住職に歴史の話をしてもらったところ、非常に好評であったので、今後検討していきたい。

〈公営企業部所管〉

Q マンホールポンプ交換工事で、故障の状況、原因は。

A 異常が発生したのは5月12日の土曜日、原因はポンプにタオルや破片などが挟まったことなど。このポンプの処理区域内に大きな旅館・商業施設があり、県内でも一番大きいポンプ。

平成22年に入れ替えを行っている。通常ポンプの耐用年数は約15年だが、周辺への影響など考え補正を願う。

【意見・要望】

平成30年6月18日に発生した大阪北部地震に伴う学校プール壁倒壊事故を受け、本市の公共施設等に対する点検および点検結果による危険箇所等の早急な対応について協議し、本委員会では、
 ・公園、観光施設などの施設倒壊や土砂崩れなど、危険箇所がないか点検すること。
 ・道路、橋梁および水道施設において、危険箇所がないか点検すること。
 などの意見が出され、議会から市に対し強く要望していくことを確認した。

人事

八幡山恩賜県有 財産保護組合議会 議員の選挙（当選）

氏名 田中 正純 (78)
住所 春日居町桑戸

氏名 相川 幸夫 (75)
住所 春日居町桑戸

※議決の日から任期満了
(平成32年11月24日)まで

人権擁護委員の 候補者の推薦 (承認)

氏名 松野 勝則 (63)
住所 石和町井戸

氏名 橋田 良也 (66)
住所 石和町市部

※平成30年10月1日～3年間

意見書

教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費 国庫負担制度拡充を図るための意見書

学校現場の課題が複雑化・困難化する中で子どもたちのゆたかな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠です。ゆたかな学びの実現のためには教職員定数改善などの施策が最重要課題です。

本市では、「子どもたちの個性を尊重する学校づくり」を施策として掲げ、学校教育ビジョンの推進、きめ細かな指導のための市費教職員や指導主事の配置、教育相談室の設置など、学校教育の充実を図る施策を積極的に展開していただいています。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、次の措置を講じられるよう強く要請します。

- 1、計画的な教職員定数改善を推進するとともに、少人数学級の推進を図ること。
 - 2、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元すること。
 - 3、教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年6月29日

山梨県笛吹市議会 議長 海野利比古

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

要望書 (要約)

平成30年6月18日午前7時58分頃、大阪市北区、大阪府高槻市、茨木市、箕面市、枚方市を中心として震度6弱の大阪北部地震が発生した。

この地震で、小学4年生の9歳女児が壁に挟まれて心肺停止になり、病院に緊急搬送されその後死亡が確認された。痛ましい事故が発生している。

笛吹市は甲府盆地南部を横切る「曾根丘陵断層帯」が走っており、近い将来大規模地震の発生が危惧される。

このような状況を鑑み、今後の地震発生に備え公共施設等に伴う点検及び点検結果による危険箇所の早急な対応を実施するよう、次の事項について議会から市に対して強く要望する。

- ①公共施設の壁、屋根・天井などの倒壊、崩落等の危険性について点検を実施すること。
- ②通路、避難路の危険箇所の点検、及びこれに伴う家屋や壁の倒壊等の危険箇所が見つかった場合には所有者に対する注意喚起および指導を行うこと。
- ③学校施設(校舎、校庭など)、

また学校周辺についての危険性について点検すること。

- ④保育所施設(園舎、園庭など)、また保育所周辺についての危険性について点検すること。
- ⑤福祉施設、文化・スポーツ施設など、多くの市民が利用する施設に危険箇所がないか点検すること。
- ⑥公園、観光施設などの施設倒壊や土砂崩れなど、危険箇所がないか点検すること。
- ⑦道路、橋梁及び水道施設において、危険箇所がないか点検すること。
- ⑧消防団における地域の防火水槽、消火栓、詰所などに危険箇所がないか点検すること。
- ⑨点検の結果、危険箇所が見つかった場合は、予算措置を講じ早急に対応すること。
- ⑩各部署による点検の実施状況及び点検結果について、議会に報告すること。

笛吹市長 山下政樹 様

平成30年6月29日
笛吹市議会
議長 海野利比古



高齡社会の充実を！



一宮町坪井
原田久實子
(主婦)

私は4年前に、自動車運転免許を自主返納したところ、行動範囲が狭くなってしまうようになりました。しかし、昨年より送迎車が巡回してくださる「快笑塾」に入れていただき、介護予防全般について学び深め、少しでも長く自立した生活の質の向上を目指しています。

特に2年目の本年、地元の一宮児童館を申し込みましたが、定員オーバーで御坂保健センターに通っています。送迎ありのために不自由は感じておりません。良きスタッフ、友人にも恵まれ感謝です。参加したくても送迎さえあれば「快笑塾」だけでなく、コーラス・料理、その他種々の講座を利用したい方、高齢化が進む一方で、意欲はあれど実行に移せない方が大勢救われるのではないのでしょうか。笛吹市に元気なお年寄りが増えることを願っております。

笛吹市の未来に



春日居町小松
堀内とし子
(自営業)

笛吹市は山梨県地図を開き縦横測定すると、県のほぼセンターに位置しています。そこで、県の中心地を活用してできること、現状では観光や、桃・ぶどうの生産が一番という農業、また、ボランティア活動が山梨県は全国一番ということ、温かい心の地域性をアピ

ルすることなどかと思われず。将来に向けては、自然災害、地震、富士山噴火に備え、笛吹みんなの広場付近に県の防災中枢を担う防災機能を備えた、最上階には、富士山を展望できる防災シンボル塔はいかがでしょうか。ヘリポートなどの設置はいかがでしょうか。新環状道路も開通し、ますます県のセンターになることと思われず。子どもの夢、女性の希望、高齢者の安心。笛吹市が立地の富を生かしセンターとなり、躍進することを願います。

9月定例議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容(表題)を公開しております。参考にご覧ください。

平成30年第3回定例会本会議の日程(予定)

- 9月 3日(月) 午後1時30分～ 本会議(初日) 市長行政報告・議案説明・決算審査報告
- 11日(火) 午前10時～ 質疑および代表質問
- 12日(水) 午前10時～ 質疑および一般質問・付託
- 13日(木) 午前10時～ 質疑および一般質問予備日
- 10月 2日(火) 午後2時30分～ 本会議(最終日) 委員会審査報告・討論・採決

※日程等に変更がある場合もあります。傍聴へはお気軽にお越しください。傍聴席へは先着順となります。(傍聴人定員42名)

※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

※NNS・甲府CATV(10チャンネル)で、市議会の録画中継が見られます。放送日時は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

表紙説明

鳩飼育施設「うかい屋」竣工式

平成30年6月28日撮影
撮影場所：石和町市部地内

編集後記

自宅の庭で野菜や花を育てるようになって、農家の人の気持ちがいささかわかるようになった。

成長する姿を見るのが楽しみで、二日に何度も庭に出ていく。せっかく植えた苗が枯れてしまったこともあるが、植えていないところから新たな芽が出てくることもあり、植物の生命力に感嘆する。花が咲いているのを見れば癒され、実がなるのが待ち遠しい。

真昼の暑い時間は外へ出る気になれないが、朝夕には外での作業が楽しく感じる。今日このごろである。

議会広報編集委員会
副委員長 河野智子